

京都ジュニアカップ適用ルール（男子）

- 1, 大会の級を5級から10級にわけ、選手はこのうちの1つのクラスにエントリーできる。
- 2, 級は年齢に関与せず参加できる。
- 3, 6級の表彰については年齢、参加者数に応じて2部門に分けることがある。
但し、開催年によって参加者数に変動があるためエントリー終了後、年齢の区切り方を検討し、抽選会後に発表する。（例 4年生以下、5年生以上）

5 級	【全種目】	技 点	4. 0 0
		実 施	5. 4 0
		加 点	0. 6 0
		合 計	1 0. 0 0

- 【加 点】
- ・きれいな演技
 - ・リズム感のある演技
 - ・卓越した跳躍
 - ・安定した着地など

ゆ か（対角線の往復で演技を行う）

1 コース（配点 0. 8 0）

助走⇒側転2回連続
（各0. 4）

2 コース（配点 2. 6 0）

倒立前転⇒前転左右開脚座胸つけ⇒両足を後ろでそろえて正面支持臥⇒腰を上げ両足立ち
（0. 5）（0. 5）

⇒ツーステップ・リープジャンプ⇒足をそろえてから後転⇒正面水平立ち（2秒静止）
（各0. 3）（0. 5）（0. 5）

3 コース（配点 0. 6 0）

助走⇒ロンダートジャンプもしくは転回
（0. 6）

とび箱（横向き 5段） 3助走2演技

開脚とび（4. 0）

鉄 棒（高さ マット上200cm）

（配点 4. 0 0）

懸垂逆上がり⇒前方支持回転⇒後方支持回転⇒足裏支持回転降り
（1. 0）（1. 0）（1. 0）（1. 0）

※懸垂逆上がりができない選手は補助可（但し減点あり）

6 級 ゆか、鉄棒の同一難度の繰り返しは2回まで認める。 A難度のみで構成（難度表にない技にもAの価値を与える。）

ゆ か ◎A難度の技で8要素で構成する。

1要素につき 0. 3

◎要求 $0. 5 \times 5 = 2. 5$

1、バランス技 2、柔軟 3、倒立 4、前方系 5、後方系
（4・5では前転や後転でも補える）

◎演技時間 70秒以内

円 馬 ◎円馬で5周

$1. 0 \times 5 \text{周} = 5. 0$

跳 馬 ◎高さ100cm 中型跳び箱縦

◎3助走2演技で行い、点数の良い方を得点とする。

台上前転 3. 5 開脚・閉脚とび 4. 0

転回とび 5. 0

鉄 棒（高さ マット上200cm）

◎A難度の技で6要素で構成する。1要素につき 0. 3

◎要求 $1. 0 \times 3 = 3. 0$

1、前方系 2、後方系 3、終末技

7 級 府民総体ルール

8 級 近畿ジュニアCクラス規則

9 級 近畿ジュニアBクラス規則

10 級 近畿ジュニアAクラス規則

このルールは2008年4月1日から適用し、京都ジュニアカップの主催する大会でのみ適用とする。